



広報

那覇

市民の友

第663号 毎月1回発行
2006年(平成18年)

4月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市泉崎1丁目1番1号
☎867-0111 ●印刷 光文堂印刷株式

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2006(平成18)年2月末現在	
総人口	315,568 (1,883)
男	152,577 (973)
女	162,991 (910)
世帯数	128,037 (1,080)
住民基本台帳人口の内部(外国人を除く)	
本 庁	92,508
真和志	105,933
首 里	58,417
小 緑	56,827

笑う那覇には”福”来たる



主な紙面

未来を担う子どもたちのために
こともみらい局を開設
都市防災の拠点・新西消防署が開幕
支えあい私らしくチャーンがしゅう
情報PACK

6 4 3 2
7 5

3月5日(日)、那覇市民会館で「宝くじふるさとワクワクシアターin那覇」が開催されました。これは、地域のみなさんに健康的な笑いを提供し、活気あふれる元気な地域社会を創出することにより、地域の活性化に資するとともに、宝くじの普及広報を行うことを目的に行われ、宝くじの収益金の助成を受けているため通常より安い料金で楽しめる公演でした。

公演には、笑福亭仁鶴さんやオール阪神・巨人などテレビでよく見る落語家や漫才師が次々と出演し、軽妙なかけ合いと独特の語り口で会場は終始笑い声が響いていました。また、この公演にはオーディションで選ばれた11名の市民のみなさんも舞台上立ち、吉本新喜劇のメンバーとともに喜劇の一員として出演しました。

喜劇に参加した市民のみなさんは、大勢の観客が見つめる中、緊張した表情で自己紹介をしたあと、それぞれに与えられたリアクションや動きなどで芸人のみなさんと一緒に、会場に詰め掛けた観客を爆笑の渦に巻き込んでいました。

3時間にもおよぶ公演でしたが、会場を訪れた約700名の観客は満足そうな笑顔で会場をあとにしました。

宝くじふるさとワクワクシアターin那覇

協働のまちづくり 那覇を紡ぐ



「協働」とは、市民、市民団体、事業者、市が機能の違いや相互の特性を理解し互いに補完し合い、よきパートナーとして、協力し合う活動体系をいいます。個人あるいは一つの組織だけではできないような地域の様々な悩みや課題を解決するためにに行います。

子どもの安全を守る

安謝小地域 わらば一守りたい



「みんな気をつけて帰ってね!」校長先生も精力的に活動しています!

最近、子どもが被害に遭う事件事故が多発していることから、全国各地で登下校時の安全確保への取り組みが行われています。不審者への対策では、校内や学校周辺の安全対策はもちろんのこと、通学路での安全対策は、保護者だけでなく、学校や地域のみなさん、事業者、行政が連携した「子供を見守る体制作り」が必要です。本市では、平成17年度文部科学省の「子ども安心プロジェクト」の一事業として新都市地域をモデル地区に指定し、地域ぐるみで学校の安全を確保するスクールガード事業を展開してきました。その中から、安謝小学校区のスクールガード「わらば一守りたい」について紹介します。

「わらば一守りたい」のねらいは、子どもたちが安心して教育を受けられるよう、学校敷地内及び学校周辺の監視を行うことで、不審者への対応及び交通事故などを未然に防ぐことです。

保護者や地域の方々が協力できる時間帯(子どもたちの登下校時、授業時間中、課外活動時)にパトロールをしています。約40名の方々の協力を仰ぎながら継続して取り組んでいます。PTA副会長の宮

城清美さんは、「本校では、学校・保護者・地域の自治会長や民生委員のみなさんが協力し、時間帯を分け常時2・3人で学校内外の見守りを実施しています。一人の力は小さくても、それが集まった時、大きな結束のある活動に発展していきます。子どもたちが笑顔で安心して過ごせる環境作りに、保護者が楽しく長く続けていけるよう頑張りたいと思います」と決意を話していました。

子どもの安全確保のために、保護者が立ち上がり、いことには、地域や関係機関がどんなに連携をとっても長続きする事は難しいのです。保護者が、自分の子ども以外の子どもにも目を向けて、みんなを守っていくことが大切です。多くの人の一歩が今必要になっています。

本紙は「カラーバリアフリー(色覚障壁の除去)」につとめています。

お気づきの点がありましたらお寄せください。

☎862-9942 秘書広報課

再生紙を
使用しています。